

守谷吉男氏を偲ぶ

太田榮市（藤岡）

愛娘さんのところからお骨になり帰宅し、家族葬で葬儀も終了している。

戦後の混乱期から大いなる希望と民主主義を自覚させられた。

上林与一郎先生の意を受け、新町の山口稔家の2階に間借りしながらも、29歳で県議会議員に当選した。

駅前の街頭に立ち、「ご町内の皆さん守谷

吉男です」で始まる演説は、多くの町民の心を動かし、もの言わぬ”おとなしい”住民を、

団結と行動力に成長させた。

住民の変革と革新勢力の育成、団結力は守谷さんの政治力が大きい。

当時の米価要求運動や共済組合の改善運動等で大きな成果をあげ、特に農家の生活向上に

多大な影響を与えた。

国際的にも活動を広げ、特に中国との国交確立に力を発揮した。

山形県における「日中友好協会」の結成にあたられ、40数回もの訪中団を実現し、守谷さん自身

は訪中150回余を数える実績を残している。

ハルピン市内に山形県事務所が開設され、人的交流や物流等、徐々に行われたのも守谷さんの尽力が大きい。

山形県、そして庄内にとつて不動の政治家であり、多くの住民の支持により、県議会議員10期当選、40年の政治活動は叙勲によって証明されている。

長い長いご指導を頂き、各種の会合にご一緒した事が多い。

守谷さんは何時どんな所であっても怒鳴り声を出したり、必要以上の行動をした事を私は見たことも聞いたこともない。

心から素晴らしい人格者であると言える。多くの同志と共に「守谷さん有難う」と申し上げ、ご冥福を祈るばかりである。

城貞（藤の花）

雑題

盛掛非蕎識陰謀

歴官仁義飾躬羞

宰司有益邦家不

相事国恩略未酬

盛掛は、人に知られないように、こつそりと企てた良くないはかりごと（謀）であることを知った。国会議員となり仁義でうわべを飾って恥かしいかぎりだ。総理となり、あなたはお国に役立つことをいたしましたか。首相として国の恩にはほとんど酬いてはいないのだ。（悪事だけはおこなっている。）

盛掛：ソバの実を粉にして固めて、せいろうに盛った蕎麦と熱い汁を掛けたそばであるが、ここでは、総理が粉の代わりに嘘と誤魔化して固めた鬼（ひどい仕打ちや出来事で義憤を感じる）恨（うぬぼれ）罵（さわぎたてる）をさす。

盛掛 蕎に非ず陰謀を識る

官を歴り仁義もて躬を飾り羞ず

宰司 邦家に益すること有りや不や

相事 国恩に略未だ酬いず

【絵を描く】 月山（1）年賀状と月山

加藤貞雄（山王町／上平形出身）

月山の頂上が真っ白く輝いている（11月3日）。その白いものが間もなく母狩山へ、金峰山へ、そして平地へと段々と降りてくるのだ。

年賀状を書く時期がやってきた。これまで自分が書いてきた年賀状を改めて広げてみた。最初の年賀ハガキは昭和36年（1961）に書いたもので（4円切手貼り）、それから今年の正月の年賀ハガキまで57枚、全部が揃っている。そのすべてに絵が描かれている。その殆どが月山である。その月山の姿も一様でない。四季に互っているが雪を被っている絵が多い。それに広がるすそ野や赤川の流れ、冬枯れの木立などが添えてある。

57枚の年賀状すべてがガリ版描きで謄写版刷りだ。ガリ版の上にロービキの原紙をおき、鉄筆で絵を刻む。謄写版で専用のインクを塗ったローラーを転がして刷っていく。月山の山肌はヤスリ板の絵画面で、雪の面

はつぶし用の鉄筆で描く。原紙が破れたりして苦心した。最初のころは3色のインクで色刷りで描いた。ハガキは300枚。一枚のハガキに3回刷るから900回刷ることになる。楽な作業ではなかった。ある年、床に胡座をかいて900回前屈みを繰り返して刷ったところ、腰を痛めて医者通いをした。その後は月山の形を鉄筆で縁取るだけで謄写し、あとはすべて水彩の絵の具で描いた。

ハガキには新年の挨拶に加えてペンで添え書きをする。パソコンで印刷すれば速いのだが、住所、宛名も直筆しないと気が済まない。これも性分で仕方がない。

年賀状の名簿から年配の方々の名前が年々消えていくのが寂しい。今年は200枚のハガキを購入した。一年ぶりにガリ版を出してその準備をする。どんな月山を描くか、構想中である。（つづく）



真冬の月山

阿部義郎君（阿部月山子）のさらなるご活躍に期待します

齋藤晴男（藤岡）

阿部義郎君（阿部月山子）の齋藤茂吉賞受賞をお祝い申し上げます。

私は義郎君と中学校で同じクラスでした。

石井良先生が恩師です。

彼は以前にも高山樗牛賞を受賞され、山形県内のみならず全国的にも文化芸術に多大な貢献と活躍をされ、同級生である私は義郎君を誇りに思うものです。

義郎君は会社勤務され、俳句を極めるために努力されたこと思っています。

義郎君は退職後、福祉施設「根っ子杉」の所長を務め、障害者福祉の向上にもご尽力されたと伺っています。いま障害者の雇用水増し問題が大きく取り上げられ、中央省庁、そして地方までも社会問題となっています。人間は等しく幸せになる権利があります。

障害のある人も、そうでない人も、国民、県民、市民みんなが幸せになるよう、義郎君

から俳句を通してご提起頂ければと思うのですがいかがでしょうか。俳句のわからない私がおんな事を申し上げ、誠に僭越です。阿部義郎君の益々のご活躍をご祈念申し上げます。



↑句碑除幕式（11月4日）

一阿部義郎氏



だまされては遺憾！ ーアジア・太平洋戦争④ 特攻死

青山 崇

特攻（特別攻撃隊）とは、普通は爆弾を積んだ航空機で艦船などに体当たり攻撃（航空特攻）

をさせているが、モーターボートや改造魚雷「回天」での体当たり攻撃などもある。

敗戦濃厚な1944年10月、フィリピン戦で、神風特別攻撃隊の呼称（「かみかぜ」と通称されているが、正式には「しんぷう」）で出撃したのが最初である。しかしその効果については分かれていた。

6機の特攻機が命中しても、駆逐艦という小型艦艇でも沈没させることができなかつたというような状況が多かつた。

もつとも、特攻隊員が考え出した攻撃方法で、大型航空母艦に2

機の特攻機が連続して命中し、沈没は免れたものの、400人近い戦死者を出すという大損害を与えたということもあった。

しかし、戦局を逆転させることは出来ず、いたずらに犠牲者を増やしただけだった。

死を前提とした、世界に例のない、このように異常な戦術が何故取られたのであろうか。

その歴史的背景は後に書くことになるが、ここで一つだけ簡単に述べておこう。



消費税引き上げ阻止

社会保障のためにと始められた消費税は、どこで景気がよくなったのか庶民には判らないが、安倍首相は来年10月から10%にするんだと息巻いている。

▲私たちは、消費税導入後、社会保障は年々悪くなり、その度法人税が引き下げられてきたことを知っているし、消費税の導入も順次の引き上げも、財界と大企業からの要求だということを知っている。またこの間、国民の大きな反対で何回か引き上げを止めてきたことも判っている。

▲今回も引き上げをストップさせることは出来る。次の選挙で消費税増税に賛成な勢力を減らせばいいのだ。つまり、自民党と公明党の議員を落選させ、消費税によらなくても財源は確保できると詳

それは日露戦争で確立した極端な精神主義で、軍の機械化や技術革新などをないがしろにして、「戦闘の決は銃剣突撃をもって決する」という突撃精神である。



空母エセックスに突入を試みる神風特攻隊の特攻機（ウイキペディアから）

しく提案している共産党を伸ばすことだ。

▲引き上げ実施で予想される景気の落ち込み、アーダコーダと言っているが、景気対策を考えるなら、やらねばいいのだ。低所得者や低年金者へ月5千円をくれるという対策は、やっかいだからともう諦めたとの報道。

▲厄介な仕事でいえるは、消費税を計算して納める側の対応も心配されているようだ。8%・10%を記録する機械のプログラムが出来ないとか・大金が必要だとか。インボイスとかいうやり方が難しく、制度として成り立つのかと言われている。

▲低年金者でいえば無年金者へも3・3万円支給せよと全日本年金者組合は要求している。この額は、国民年金を満額もらった場合、半分は国庫負担だから誰でも貰う権利があるというものだ。（石川）



阿部月山子 句碑 いでは文化記念館・碑の杜（羽黒町手向）除幕式（平成30年11月4日）